

『カクキューの八丁味噌を愛した著名人』
～ 秋山 徳藏 ～

1888年（明治21年）～1974年（昭和49年）
福井県出身。料理人。フランス料理アカデミー名誉会員。

大正・昭和時代の58年間宮内庁大膳課主厨長を務め「天皇の料理番」と言われました。宮中の公式行事の料理を担当し、日本の西洋料理の普及に尽力されました。

秋山徳藏は多くの著書を残されていますが、その中の「秋山徳藏選集 第二巻」（1976年（昭和51年）みき書房発行）の「豆みそ」の項で「大豆の麹を使うもので、その名のとおり豆だけでつくる味噌である。八丁味噌がその代表的なもの。（中略）保存はものすごくきくから、すこしづかり常備しておいて、舌の楽しみにするとよい。」と紹介されています。序文は友人の吉川英治が寄せています。

横田哲治著「天皇家の健康食」（2001年（平成13年）新潮社発行）に秋山徳藏と八丁味噌が紹介されています。

杉森久英著「天皇の料理番」は秋山徳藏がモデルとされ、過去3回テレビドラマ化され、2015年（平成27年）には佐藤健が主演し話題となりました。

当社の八丁味噌は、明治25年から宮内省への納入が始まり、明治34年12月28日に正式に「宮内省御用達」の許可を得ました。昭和28年2月23日には当社に来社されており、その時の御名刺や、宮内省御用達に関連した資料を史料館にて展示しております。

当社史料室には昭和時代に秋山徳藏宛に味噌をお送りした記録が残っています。宛先は宮内庁。

「吉川英治」について詳しくは「カクキューの八丁味噌を愛した著名人～吉川英治～」をご覧ください。



2020.11.19